

ジャグラは一般社団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS

No.789
2017
08

■ 巻頭企画

2018年成年 年賀状デザインコンテスト 入賞作品決まる!

全応募数661点より100点を選出

■ 特別企画

事業承継 (含M&A) 問題を考える⑥

鼎談・マーケティング委員：松下 忠 × 岸 徹 × 早坂 淳

■ 連載・シリーズ

ジャグラコンテスト第1次審査課題解説②

需要創出を考える②

◎生産部門から生まれたアイデアを具現化!

(株)クイックス(愛知)の事例

◎小さな印刷会社でも音楽著作物の出版はできる!!

トーバン印刷(株)(岩手)の事例

■ お知らせ

日産連刊

書籍案内 印刷産業における環境関連法規集



C・O・N・T・E・N・T・S

● 巻頭言

01 新支部長になって

ジャグラー兵庫県支部長/㈱トライス 岸 徹

● 巻頭企画

02 2018年成年 年賀状デザインコンテスト 入賞作品決まる!

全応募数661点より100点を選出

● 特別企画

08 事業承継 (M&A) 問題を考える⑥

鼎談・マーケティング委員:松下 忠×岸 徹×早坂 淳

● 連載・シリーズ

14 ジャグラーコンテスト第1次審査課題解説②

問題2:縦組み新聞レイアウトの制作

26 需要創出を考える②

生産部門から生まれたアイデアを具現化!

「捨てられない紙製品または自分で使いたい紙製品」をテーマに開発
—— ㈱クイックス (愛知)

小さな印刷会社でも音楽著作物の出版はできる!!

知的財産権「音楽著作権」をどのようにクリアしたか
—— トーバン印刷(株) (岩手) 企画・デザイン・ウェブ課 課長 足利園子

30 温孔知新

続編・第15回:60年前の年賀状デザインコンテスト
—— 山形謄写印刷資料館 館長/中央印刷(株) 後藤卓也

● NEWSとお知らせ

18 議事録抄録 7.14 第53年度第二回理事会を開催

日印産連刊
書籍案内 印刷産業における環境関連法規集 [2017年版]

23 業界の動き

ジャグラー 7.29 クラウドサーバーのセミナー開催
賛助会員 7.27-28 モトヤコラボレーションフェア開催

33 ジャグラーBB HOTNEWS

“技”がテーマの新感覚番組「ワザコレ!」配信開始

24 企業情報

32 ジャグラー スケジュール表

巻頭 新支部長になって

ジャグラー兵庫県支部長
㈱トライス 岸 徹



本年5月13日に開催されました兵庫県支部の総会にて支部長を拝命いたしました。微力ではございますが先輩方が築いてこられた歴史を汚さないよう、また中村会長が言われている「強いジャグラー」になるため邁進して参りたいと思います。

さて、前述の当支部総会では、新年度のスローガンとして『超・超変革』(阪神タイガース 前年度スローガン参考)、サブタイトルとして「持続可能な企業づくり・組合づくり」を掲げ、私の思いを伝える機会をいただきました。

その思いは——。

2017年に入り、国内外の政治経済の不安だけでなく、世界最速で少子高齢化が進んでいるわが国においても、外部環境は絶えず確実に大きく変わってきています。一度、成功したビジネスで一生生活できた、手にした職や技術は生涯を支えてくれる、そんな時代は終わってしまいました。私たちは「一度手にした職業やビジネスで一生を過ごせない」という時代を生きているのです。

それは商品やサービスのライフサイクルが、極端に短くなってきているように、私たち経営者は一生に数回は「起業」をしなくてはいけなくなっているような気がします。健全な企業活動が継続され続けている組合員企業が存続しているからこそ、健全な組合活動が可能です。旧態依然の企業体質から、経営者も、そこで働いておられる社員の方々も、本気になって変革を行わなければ、印刷業界だけでなく全産業界で健全な存続が難しい時代であることは、疑う余地がありません。個々の成長・変革が企業の成長・変革を促し、さらに組合・業界へと広がっていくよう、まずは経営者としての自分の力が試される時だと思っています。

ある冊子のコラムに「経営者に残される、大切な仕事とは」というテーマで次のような文章が書いてありました。

タイタニック号は、不沈船と呼ばれた。しかし、処女航海であっさり沈没した。それは船の構造が悪かったわけでも、乗務員が一生懸命に働かなかったわけでもない。目の前に迫ってくる、「氷山」を見過ごしたただけだ。経営者に「残される」究極の仕事は、氷山を発見し、それを回避するように舵を切ること。または、もともと氷山があるような海に出るのではなく、より安全な海へ船を進められるように、舵を切ること。そのために経営者は、虫の目(現在)、鳥の目(未来)、魚の目(スピード)を絶えず持ち続け、自社にとって最も良い「方向」を決めなければいけない。それは本来、片手間のできるほど、簡単な仕事ではない。このことが今の時代に経営者に残された、最も大切な仕事であると。

自社の経営を維持発展させるべく、さまざまな手段を駆使し、また、組合活動を通じて気づき、学びあい、実践して持続可能な企業をつくり続けなくてはならないと思います。

さらに本年は当支部にとって、1952年2月10日に兵庫県謄写印刷業組合として設立されて以来65周年を迎えるという記念すべき年です。現在まで存続にご尽力いただいたジャグラー本部や会員の方々、賛助会員様をはじめとする皆様方に感謝の意をお伝えし、これからも兵庫県支部を維持発展させていけるよう、近畿地方協議会様ご協力のもと、本年11月22日に記念式典を神戸にて開催したいと考えております。

今後とも、いっそうのご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

2018年戌年

年賀状デザインコンテスト 入選作品決まる!

全応募数661点より100点を選出

ジャグラ経営革新委員会(青木滋委員長)は、去る7月3日(月)、ジャグラ会館にて2018年戌年 年賀状デザインコンテストの審査会を実施し、応募総数661点(会員企業426点/64社、学生235点/18校)の作品のなかから100点を選出するとともに、最高賞であるジャグラ会長賞として以下の3点を決定しました。入選作品および年賀見本帳のダウンロードは8月18日(金)、会長賞受賞作品の表彰は11月10日(金)の全国協議会席上を予定しています。



会長賞受賞作品を手にする中村会長(中)と岩下副会長(左)・青木委員長(右)

ジャグラ会長賞



カラー部門

(株)タカトーププリントメディア 広島

「戌」という文字をデザイン化した、シンブルな構図が評価されました。また、色使いに制作者のこだわりを感じます。嫌味のないデザインで、沢山のお客様に使っていただけそうです。



モノクロ部門

(有)ハビネス情報処理サービス 東京

もらった方がホッとすると、癒し系のワンちゃんのイラストで、文句なしの受賞となりました。特にワンちゃんの表情が高評価でした。老若男女を問わず幅広い層に受け入れられる、使い勝手のいい一枚となるでしょう。



学生部門

東日本デザイン&コンピュータ専門学校 群馬 / 野中夏音

既存フォントをそのまま使う応募作品が多いなか、「謹賀新年」の賀詞をデザイン化した、学生らしいチャレンジ精神が評価されました。デザイン的にもまとまっている優れた一枚です。

協賛企業賞

FFGS賞



日経印刷(株) 東京

キャノンプロダクション
プリンティングシステムズ賞



(学法) 専門学校名古屋モード学園 愛知 / 鈴木結花

富士ゼロックス賞



専門学校デジタルアーツ仙台 宮城 / 坂本真凜

ショーワ賞



(有)めぐみ工房 新潟

ムサシ賞



専門学校デジタルアーツ仙台 宮城 / 佐々木麗亜

モリサワ賞



(株)アクセス 熊本

コニカミノルタ賞



(有)クイット 愛知

富士ゼロックス東京賞



(株)アクセス 熊本

ダイヤモンド賞



(有)ジロー印刷企画 岩手

リコー賞



(有)クイット 愛知

リョービ MHI 賞



(株)ニシキプリント 広島

Xmasカード部門賞



(有)ジロー印刷企画 岩手



電算印刷(株) 長野



(有)クイット 愛知

青木委員長講評 カラー部門・学生部門の会長賞受賞作品は個性的な色使いとディテールの面白さが、また、モノクロ部門は温かみを感じさせるデザインが評価され、個性豊かな3点が揃いました。多くの審査員から、「今年はデザインのバリエーションが広がった」という感想が寄せられました。特に学生の作品レベルは年々上がっており、バツと目を引く個性的な作品が増えました。会員企業の作品はバラエティに富んだデザインで、いずれも甲乙つけがたく審査員を大いに悩ませました。新部門のXmasカードについては、応募点数は多くはなかったものの完成されたデザインが多く、若年層の印刷需要掘り起こしにつながると期待しています。SNSやメールなどに押されがちな紙媒体の年賀状ですが、若年層による新風を吹き込み続けられ、その可能性はまだまだ広がるでしょうし、デザインにはそのようなチカラがあると私たちは信じています。今後は、この100点の入賞作品で「見本帳」を作成し、ジャグラ会員企業が無償で商用利用できるようにしますので、ぜひ年賀状商戦に役立ててもらいたいと思います。なお、今回も11社のメーカー・ディーラー各社様(右頁参照)より、業界挙げてのこの取組みにご協賛いただきました。感謝申し上げます。

優秀賞



長瀬印刷(株) 福島



(株)広瀬印刷 広島



電算印刷(株) 長野



電算印刷(株) 長野



日経印刷(株) 東京



北斗印刷(株) 福島



長瀬印刷(株) 福島



(株)アクセス 熊本



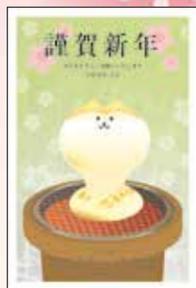
(株)ニシキプリント 広島



(株)タカトープリントメディア 広島



(株)タカトープリントメディア 広島



日経印刷(株) 東京



(株)アクセス 熊本



(有)大船渡印刷 岩手



(株)一関プリント社 岩手



(株)一関プリント社 岩手



(株)ニシキプリント 広島



(株)アルファ 神奈川



(学法) 専門学校HAL名古屋 愛知/伊藤永莉



町田デザイン専門学校 東京/荒井みゆき



作品賞



長瀬印刷(株) 福島



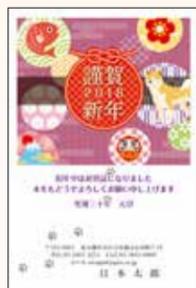
長瀬印刷(株) 福島



(株)ニシキプリント 広島



(有)クイット 愛知



(有)クイット 愛知



やまかつ(株) 大阪



やまかつ(株) 大阪



勝美印刷(株) 東京



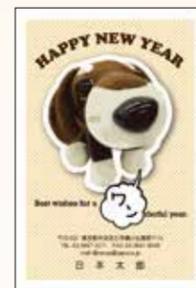
長瀬印刷(株) 福島



(有)日良居タイムス 山口



電算印刷(株) 長野



(株)アクセス 熊本



(有)大船渡印刷 岩手



(有)大船渡印刷 岩手



(有)めぐみ工房 新潟



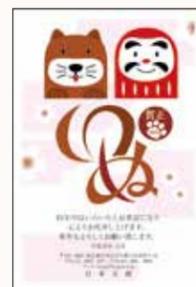
(株)金精社 東京



(株)あいわプリント 北海道



(株)アイエス 東京



あべ印刷(株) 岩手



(株)タカトープリントメディア 広島



(株)一関プリント社 岩手



(株)一関プリント社 岩手



(株)サンライズ 東京



(株)サンライズ 東京



(株)ニシキプリント 広島



(株)ニシキプリント 広島



(株)タカトープリントメディア 広島



(株)タカトープリントメディア 広島



(株)グッドクロス 東京



(株)グッドクロス 東京



(株)五六堂印刷 岩手



(株)アルファ 神奈川



(株)ニシキプリント 広島



(株)ニシキプリント 広島



(株)ながと 宮崎



(株)北斗プリント社 京都



(株)第一印刷 福島



(有)めぐみ工房 新潟

2018年戌年 年賀状 デザインコンテスト



株式会社金精社
東京



ミノックス株式会社
大阪



トーバン印刷株式会社
岩手



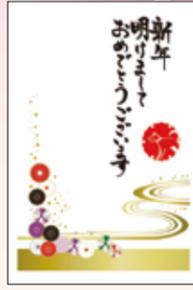
トーバン印刷株式会社
岩手



株式会社タカトープリントメディア
広島



株式会社エンジュ
新潟



株式会社五六堂印刷
岩手



株式会社五六堂印刷
岩手



株式会社孔栄社
宮城



北斗印刷株式会社
福島



北斗印刷株式会社
福島



北斗印刷株式会社
福島



北斗印刷株式会社
福島



共立速記印刷株式会社
東京



株式会社一関プリント社
岩手



日本ハイコム株式会社
長野



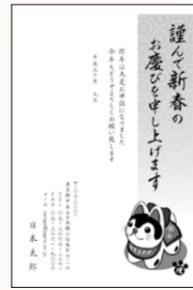
株式会社東海林印刷
秋田



株式会社グッドクロス
東京



株式会社五六堂印刷
岩手



株式会社アルファ
神奈川



(学法) 専門学校HAL
愛知/菱田萌香



名古屋工学院専門学校
愛知/大森春果



株式会社アクセス
熊本



株式会社アクセス
熊本



小野高速印刷株式会社
兵庫

Download
8.18 FRI
Start

入賞作品&見本帳データの
ダウンロードは8月18日(金)から
特設サイトで可能となります

<https://www.jagra.or.jp/nenga2018/>

ジャグラ年賀状



喪中部門賞

併せて読みたい「温孔知新」 今月の「温孔知新」のテーマは“60年前の年賀状デザインコンテスト”です。騰写印刷による多色刷り年賀状の数々は必見!

月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08



事業承継 (M&A) 問題を考える⑥

マーケティング委員会

岸 徹 委員

(株)トリス / 兵庫

マーケティング委員会

早坂 淳 委員 (司会)

(株)ケーヨー / 東京・中央

マーケティング委員会

松下 忠 委員

(株)ウイング / 和歌山

現在、マーケティング委員会（齋藤秀勝委員長）では、「M & Aを含めた事業承継」をテーマのひとつとして活動していますが、今月はその第六弾としてマーケティング委員である和歌山県支部長・(株)ウイングの松下さんと、兵庫県支部長・(株)トリスの岸さんにお話を伺いました。

×

個人保証を背負うことへのためらい

■早坂 今回は少し趣向を変えまして、和歌山の松下さんと、兵庫の岸さんにお越しいただきました。松下さんには事業承継の経緯と現状について、岸さんには次の世代についての考え方をお話しいただきます。まず、松下さんから自己紹介をお願いします。

■松下 弊社は和歌山市にありまして、創業45年、設立37年を経過しました。地方によくある総合的な印刷会社です。設備が一貫体制、デザイン、作成から印刷、製本、配送まで請け負っています。

ジャグラーの皆さんは同族会社が多いと思いますが、弊社は少し変わってまして、私が3代目社長で、2代目も創業者と血縁関係が全くありません。私が入社した時は、創業者である社長の体調が悪くなり、2代目を出すというタイミングだったので、2代目社長への交代劇を目の当たりにしました。創業者が、「子どもには継がせない」という方針を立てていましたので、2代目は社員の中から出すと

いうことは以前から周知されていまして。私が入社して5年後に2代目社長が就任しましたが、そこまでの経緯も厳しいものがありました。同族ではありませんが、個人保証を引き継がなくてはいけません。装置産業ですからそれなりの投資額があり、借り入れて賄ってました。人・物・金全てを引き継ぐときの一番の弊害は、個人保証だということを、側で見ていましたので、「社長は大変だな」と若いなりに感じたことを鮮明に憶えています。

2代目が10年ほど社長を務めますが、その間私は役員になり経営にも携わっておりました。3代目に関しても暗黙の了解で「個人保証を全て背負う」と分かっていますから、それとなく話は出ますが、「私がします」という声は出ませんでした。私も役員の中では一番若手でしたし、社長になる気は少しもありませんでした。

3年前に私が3代目になりましたが、その交代劇は非常に悲しい話です。2代目が癌で余命宣告を受け、半年後に亡くなってしまいます。3代目を出さなくては廃業になるという状況でした。2代目は「3人の取締役の中から社長を決めてくれ」と言っていました。2名は60歳以上だったので、私しかいませんでした。何の準備もない中で、3週間以内に返事をしなくてはいけませんでした。

私はその時、入社して20年経ってまして、愛社心がありましたし、弊社は昔から経営指針書ののっとり経営をしており、その経営理念は「地域社会の中で存在意義の

ある会社になる、その人づくりを目指す」でした。もし廃業してしまうと、自分の存在意義がなくなると考えました。

当時、社員が40名以上いまして、創業者、2代目ともに「雇用は守っていく」と言っていましたので、社員を路頭に迷わせるわけにはいかず、私が引き受けるしかないという状況でした。そういう経緯で決断し、3年前に社長に就任しました。

■早坂 個人保証など会社が抱えているものはあったと思いますが、営業利益などはいかがでしたか？

■松下 黒字は継続していましたが、ぎりぎりでしたので剰余金はほぼゼロでした。自己資本比率も非常に低く、黒字を出して債務超過もなしで20年来ていますが、財務基盤は脆弱でした。

■早坂 黒字が出るということは、市場としてはまだまだ十分やっていけるということでしょうか？

■松下 ぎりぎり黒字ですから。無理して黒字を出すというところですので、将来性としては明るいものではなかったです。

■早坂 売り上げはどうでしたか？

■松下 売り上げは前年対比で落ちていました。

■早坂 ご家族はその時どうでしたか？

■松下 全く予期していませんでしたので、とにかく反対されました。家内も小学5年生の子供にも反対されました。負債があるとか、個人保証が幾らとかの具体的な話は言わず、「会社がなくなったら団地に住みますよ」とだけ言っていました。それだけ言ったら、もう何も言わないというか、納得してくれたのだと思います。

次期社長候補として4名の社員がチャレンジ中

■早坂 では次に岸さん、今後事業承継をする立場として自己紹介もかねてお話しください。

■岸 私は代表取締役になって18年になります。ありがたいことに、弊社は創業83年になりますので、通過点ですが100年は続けたいという思いを社員に伝えています。その上で、年輪的にも62歳になり、現在は経営者として最大の難事業である事業承継のことで頭が一杯な状態です。私の子供は一人娘で、東京の別の業界で働いていますので、できれば社員の中から「社長をやりたい」という声をあげてもらいたいと思っています。

当社は阪神淡路大震災後、印刷に対する投資をやめて印刷部門の縮小を進めました。印刷オペレータや製本部門の社員が退職すると、デザインや企画ができる人材に入れ替

えていき、徐々にプリプレスに転換していきました。

私としては「規模ではなく、小さくても強い会社」にして、次の社長に譲りたいと日々励んでいます。

私が4代目社長になった時に、それまでなかった経営理念を作りました。当時、Windows95やインターネット、携帯電話などが始まっていましたので、業態変革するために自社のポジショニングを「見える化」して社員と共有し、会社の方向性を何年かかけながら示しました。

きっかけは16年前のジャグラー主催アメリカ視察ツアーでした。「パソコンが印刷業界にどのような影響を与えるかを視察しに行こう、アメリカは日本より5年ほど早いぞ」ということで、全国から集まったジャグラーのメンバーと一緒に行きました。その視察で、顧客と印刷会社の間に入ってプロデュースをする会社を見学して、「私がこれからしたいのはこういう会社だな」と思い、印刷への投資をやめるきっかけをいただきました。帰りの飛行機の中で、自分の中の思いを図式化し、ポジショニングを決めたことを思い出します。今、何とか生き残れているのは、ジャグラーのおかげだと思っています。

■早坂 次期社長を従業員の中から選ぶ基準はありますか？

■岸 社員が15名ほどの会社ですが、4名にチャレンジしてもらっています。役職を作って配置し、どのように動くかを見定めている最中です。営業成績や制作スキルがいからといって、それだけでは選ばないつもりです。スキルと人間性、人間力のバランスの取れた人を選びたいと思っています。人間力を高めるために、異業種交流会に出て勉強してもらったり、部下をどのように育てるかを見たり、そういう場を提供し続けています。

■早坂 人間力は経営者としての基盤にはなると思いますが、例えばマネージャー研修などの経営の勉強はするのでしょうか？

■岸 まずは外部研修や商工会議所の「ビジネスマネージャー検定」を受験してもらって、基礎的な知識を勉強してもらいます。また、バランススコアカードという仕組みを取り入れて10年近くになりますが、それにのっとり経営指針書を各マネージャーが中心となって作成し、あるべき姿を各部門で追求しています。また、売り上げ管理だけではなく、各納品物の粗利額が分かる自社システムを独自に作り上げました。

私は営業から経理までの各部署に、売り上げや粗利額の目標を作り、全社で数字に対しての意識付けをやっています。経理の担当であれば、請求書を作って帳簿を付けて本

特別企画:鼎談

来の仕事は終わりかもしれないですが、それだけで終わらせず色々なスキルを持てば人として色々な可能性が出てくると思います。制作部から校正の仕事を買うことによって、社内発注という形で個人売上として反映させています。毎月の経営戦略会議や、給与明細を渡す際に全員の個人面談を行ったり、そういうときに各部門や個人の数字を報告してもらおうようにしています。

全てをオープンにして危機感を共有

■早坂 話を松下さんに戻しますが、社長就任後、最初に明確にされたことはありますか？

■松下 経営指針書を年1回全社員で作ることを、30年間継続しています。改めてということはなかったのですが、経営指針書を社員の腹に落とすということを始めました。お題目ではなく、社員の腹に落として実践させるということをまずやりました。

■早坂 腹に落とすは、具体的には？

■松下 なぜ経営指針書を作って計画通りにやらなければならないかという根幹の部分が、今ひとつ社員が分かっていないように感じました。「何のために会社は存在するのか」に行きつくと思います。年1回の全社員会議で話し合うのですが、どうも腑に落ちていないとか、分かっていないように感じました。そこで手法も変えて、社長と役員とで危機感を持って経営をしていることを明確に説明して、社員に現状を包み隠さず伝えて危機感を持ってもらうようにしました。

■早坂 包み隠さずというのは、財務表を見せるとかということですか？

■松下 財務諸表も見せて説明しました。

■早坂 それで社員の危機感を超えるようなことになる心配はなかったですか？

■松下 色々な考え方があると思いますが、弊社は全てオープンにすることを昔から基本にしていました。しかし、オープンの仕方が中途半端になってしまうと、変な先入観がでます。ですから社長の給料まで全てオープン、BSもPLも全てオープン、現在の借入金も全て見せて、現状を腹に落とすことから始めました。

■早坂 社員の反響はどうでしたか？

■松下 なぜこういうことを言うかが理解できたと思います。分からないと不満を持つわけで、全てをオープンにしたことで、「よしやるぞ」と社員が思ってくれて、団結できました。それが3年前ですが、以来ずっと継続しています。



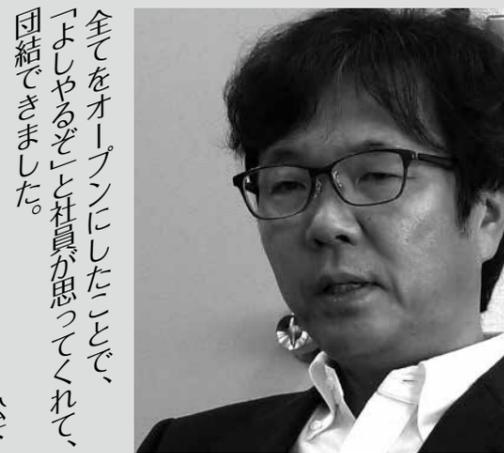
「規模ではなく、小さくても強い会社」にして、次の社長に譲りたい。

岸



経営理念や経営方針が組織の中でどのように生きていくかが自社の生き残りに大切だ。

早坂



全てをオープンにしたことで、「よしやるぞ」と社員が思ってくれて、団結できました。

松下

■早坂 そこまですることで、社内の空気は変わったと思いますが、業績に転換はしていききましたか？

■松下 はい、もちろんそれがなくては意味がないので。経営指針書の中に色々な方針が書かれています。以前から「多能工化」と「見える化」を推進していましたが、中途半端になっていたのを徹底しました。

「見える化」の一つは財務諸表もそうですし、誰がいつ何をして何時間残業したとか、誰が今どれだけ加工高の目標に達しているかと全てです。「多能工化」は一つのことしかできない人に、3つ4つやってもらう。社内改革を真っ先にしたこと、生産性が格段に上がって粗利益率、営業利益率、経常利益も含め全ての指標が良くなりました。

経営者に必要不可欠な将来ビジョン

■早坂 岸さんは将来のために行革を進めていますね。ある部分に補充はせずに、新しいものを生んでいく。社員はそれに対して抵抗はありませんでしたか？

■岸 多くの抵抗はありましたが、20数年かけて、色々なことがありながら今のメンバー、今の体制になっています。経営者が自社のビジョンを明確に持っていないと、社員も困りますし、面接などでも将来のためにどういう人材を入れたらいいかが分からなくなります。経営者は、自分よりも優れた人材を意識して雇い入れるべきだと思います。自分の指示通りに動けるメンバーではなく、ある部分ではプロフェッショナルな人たちを雇い入れて、そういう人材をどのようにまとめて、チームの力にしていけるかが、経営者には必要なのではないかと思います。商品の品質や経営品質などありますが、今の時代に一番必要なのは「経営者品質」だと思います。

■早坂 将来的に従業員に継承するという点では、松下さんと同じ状況ですね。松下さんの経験上、岸さんの将来

に何かご意見はありますか？

■松下 会社を引き継ぐのは相当なプレッシャーです。私の経験からですが、経営基盤が安定して将来のビジョンがあって、誰でも社長になりたがる会社に今からしていかなくは、私のようになってしまいます。社長になってから3年間それをやってきて、まだまだかかるとは思いますが、現在は個人保証も半分外れて、あと1~2年で全て外す計画です。これも全社員が頑張っただけで成果が出たおかげです。

継承には会社の安定性と将来性と、もう一つ大切なことは経営理念を引き継ぐことです。経営理念がなくて空っぽの状態ですから、経営理念を引き継いでもらえる社長をつくるのが重要だと思います。

■早坂 お二人のお話の中にも経営指針、経営理念、経営方針が出てきましたが、どれだけ社員に浸透して共通の意識を持ってやっていくかが、我々中小企業の生き残りであり事業承継、継続への柱だと思います。

最後に、100年企業を目指している岸さんは、どういう会社になっていきたいかという目標をお聞かせください。

■岸 100年企業といってもあくまでも通過点であってほしいです。100年経って潰れてはだめですので、そのためには強い会社でありつづけてほしいです。会社の方針としては、顧客の課題を解決できるスキルを持った人材の育成という方向性でやっています。物売りではなく、事を売れ

るように。顧客の課題を解決し、そして顧客の増客増益増収のお手伝いができる会社になっていきたいです。今の経営指針書をもとにみんなで切磋琢磨しながら強いチームになった時に、承継がやっとなかと思えます。

■早坂 松下さん、自社の未来像をお聞かせください。

■松下 未来像と言うか理念になるのですが、私が社長になってから、経営理念の解釈を変えました。私が変えたのではなく、社員が1年間議論を重ねて、今までの大事なことは変えずに社員の納得のいく理念を決めました。

「全社員の幸せを実現するために、地域社会の中で存在意義のある会社を目指す」——抽象的ですが、実現に向かいつつあります。たとえ経営が100年200年続いても、経営理念に到達できたと思うことはないでしょう。到達できない目標や理念をみんなで追い続けながらいくと、社員は自分の人生を会社にかけてと思います。「全社員が自分の人生をかけられる会社にしよう」と取り組んでいます。

■早坂 今回は、我々と同じ経営者であるお二人でしたので、非常に中身の濃いリアルなお話が多かったと思います。経営理念や経営方針が組織の中でどのように生きていくかが自社の生き残りに大切なことだと実感しました。本日はありがとうございました。

(文責:編集部)

あなたの会社を守る ジャグラーグループ保険

特長1 掛金が割安です(例:30歳男性、1口290円/月)

特長2 死亡時保障額は最高1600万円

特長3 事故による入院もワイドに保障

特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせは
ジャグラー事務局・酒井まで

tel.03-3667-2271

月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08

月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08

ジャグラコンテスト第1次審査課題解説②

問題2：縦組み新聞レイアウトの制作

オペレータースキルアップのために

DTP オペレーターの技能を競う「ジャグラコンテスト第3回 InDesign」の第1次審査課題提出が7月10日に締切を迎えました。第1次審査で出題された4問の課題内容と審査の要点を全4回の連載でお届けします。

課題内容

「問題2：縦組み新聞レイアウトの制作」では、支給された文字原稿、画像、指示書・割付表に基づき、B4 縦1色の縦組み新聞レイアウト4ページ分を制作する課題が出題されました（右頁図）。また、前提として「今後もシリーズとして続くため、各種スタイルやフォーマット等を効率良く流用できるようにしてください」との指示も出されました。

出題の意図

過去のコンテストでまだ新聞組みが出題されていなかったため、縦組みレイアウトの新しい課題として出題されました。

支給データに、書式等が記載された指示書のほか、原稿流し込みの順番が明確に指示された割付表（図下段）を添付することにより、新聞組みが初めての方でも取り組みやすいようにするとともに、指示書の指定に従い正確にレイアウトできるオペレーターを評価するねらいがありました。

課題のポイントと必須技能

新聞組みは書籍と違って段組があり、流し込み方も複雑なので、テキストを一括で流すのが困難です。また、校正を出すたびにレイアウト変更が発生することも多々あるため、指示書の内容に準拠しつつ、原稿の増減やレイアウト変更にも柔軟に対応できるデータになっているかが審査のポイントです。主な必須技能は以下の通りです。

【必須技能】

- ①マスターページ：ページ番号は「現在のページ番号」を使用して作成されているか。
- ②オブジェクト：テキストフレームが割付表の指示通りに

連結されているか。

③段落スタイル：

- ・テキスト原稿には段落字下げのスペースが入っていないため、適切に字下げ処理がされているか（「1行目左/上インデント」で加点）。
- ・見出しはツメ処理されているか（プロポーションメトリクスで加点）。
- ・2桁数字が連数字処理されているか（自動縦中横で加点）。
- ・見出しの行取りの設定は適切か。
- ・見出しのフォントの組み合わせは適切か（合成フォントで加点）。
- ・段落スタイルが作成・適用されているか（最低でも本文の段落スタイルは必須）。
- ・文字スタイルが作成・適用されているか。
- ・「””」が縦組み用に処理されているか（等幅全角字形を正規表現スタイルで適用していれば加点）。
- ・本文中の「図1」等は小塚ゴシック R としているか（正規表現スタイルが使われていれば加点）。
- ・段間罫・飾り罫は指定通りの設定になっているか。

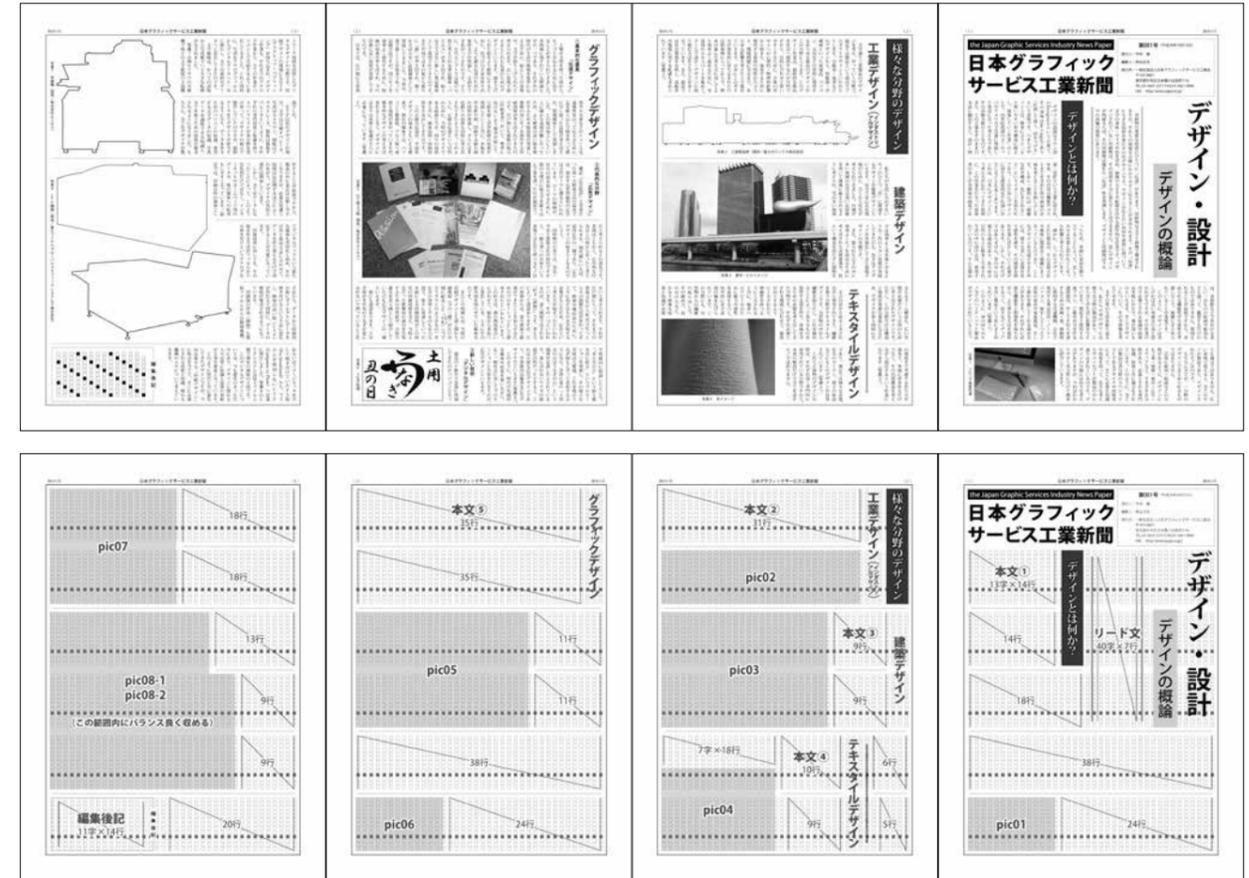
また、支給画像の一部に RGB 画像が含まれており、それらが印刷データとして適切に処理されているかも審査の対象となりました。

この課題で一番の難所は？

「問題2：縦組み新聞レイアウトの制作」は「InDesign 機能を使い倒す」というより、実務でよく使う標準的な技能を問う内容としたため、複雑な InDesign 機能を使う箇所はありません。

強いて難所を挙げるならば、1ページ目の罫線付きリード文の設計をどうするかです。処理のしかたはいろいろありますが、表組み機能を使うのがもっとも効率的ではないかと考えます。

上段 / 問題2：「縦組み新聞レイアウトの制作」完成見本 下段 / 割付表



課題出題者からのメッセージ

この課題を通して、新聞組みの基本技能と、指示書準拠でレイアウトする力を身に着けていただけたら非常に嬉しく思います。

以下、制作手法についての補足ですが、実際の仕事で新聞組みを手掛ける場合、原稿の追加削除が発生し、後からレイアウトの大幅な変更を余儀なくされることが多々あります。そのため、テキストボックスに段組機能を使うとかえってレイアウトしづらいケースも少なくありません。経験上私がオススメするのは、テキストボックスを1つ1つ置いてテキストリンクする方法です。そうする方が、結果的に早く仕上がるのではないかと考えます。

また、柱に「第1号」と入れる箇所がありますが、この部分にファイル名、章番号などを自動的に抜き出して表示させる「テキスト変数」機能を使用することで、左右ページの入力ミスを防ぐことができるでしょう。

支給データ内誤植のお詫び

「問題2：縦組み新聞レイアウトの制作」の支給データ

内 PDF 指示書（ファイル名：Q2_shoshiki.pdf）のルビ指定欄に誤植があり、課題提出受付期間中、特設サイトに正誤表を掲載しました。コンテスト参加者の皆様には深くお詫び申し上げます。採点にあたっては、ルビ振り、括弧書き処理、いずれも体裁と内容に問題がなければ同点扱いとします。

図版付き解説と模範データは特設サイトで！

ジャグラコンテスト特設サイトでは、第1次審査課題「問題1：横組みレイアウトの制作」「問題2：縦組み新聞レイアウトの制作」の解説全文を図版付きで公開中です。コンテスト未受験の方もご覧いただけますので、ぜひスキルアップにご活用ください。また、受験者の方は、第1次審査課題資料に記載されたダウンロードID・パスワードを入力することにより、「ダウンロード」ページから課題の InDesign 模範データをダウンロードいただけます。

▼ジャグラコンテスト第3回 InDesign 特設サイト

<http://www.jagra-contest.com/>

月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08

月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08

7.14 第53年度第二回理事会を開催

11月の全国協議会の内容を検討

ジャグラは7月14日、ニッケイビルにて理事会を開催し、今年度より11月に開催する全国協議会の内容について検討したほか、ジャグラOB会であるマスターズクラブの規約の変更を検討した。

×

第一号議案 役員の派遣、スケジュールに関する件

(省略) 巻末のスケジュール欄をご参照ください。

第二号議案 ジャグラ文化典岩手大会を終えて

大会を終えて、東北地協・岩手県支部より御礼があった。その後、理事より次回九州大会に対して、「あまり背伸びしないでやって欲しい」との発言があった。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を踏ったところ、他に発言はなく、以上の内容を次回開催地に申し送ることにした。

第三号議案 全国協議会の内容について

地協会長・支部長の会議として全国協議会を開催する。今年度は11月10～11日の開催となるがその内容を検討したい。

〔主な発言〕

- ・グループディスカッションをどうするか？
- ・5月に開催した運営基盤戦略会議では、しない方向の意見が多かった。
- ・「強いジャグラ」にこだわった内容にしたい。
- ・支部長は情報を仕入れて地元に戻りたいと思っている。できるだけ各事業の情報も出したい。そのために、テキストだけでなく、解説できる時間が欲しい。
- ・意見交換というが、そうではなく、愚痴を聞かされるだけになっている。

- ・グループディスカッションをなくしたい理由は、テーマが押しつけて選べないから。
- ・テーマにあったグループ構成にしないとダメ。事前にテーマを吸い上げるとか。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を踏ったところ、他に発言はなく、最終的には執行部に一任することにした。

第四号議案 マスターズクラブに関する件

ジャグラのOB会に相当するジャグラマスターズクラブは、6月10日(岩手大会)、前ジャグラ会長の吉岡新理事を会長に選出して発足した。その際、参加資格、会費等で意見が多く出たので、その点を変更したい。併せて全会員にFAXにて周知し、ジャグラマスターズクラブへの加入を呼びかけたい。

〔提案の概要〕

- 規約変更案(編集部注：太字部分は原案から修正追加したもの、取消線部分は原案から削除したもの。なお、規約など詳細は、後日お知らせいたします。)

第5条(会員)

会員は(一社)日本グラフィックサービス工業会会員を基本とし、代表取締役、代表取締役経験者、役員経験者等のいずれかに該当するもので本会の趣旨に賛同する満60歳以上の者とする。

但し、満60歳以下でも本会の趣旨に賛同する入会希望者は、所属の地協会長または支部長の推薦があれば入会可とする。

第8条(会費)

本会の運営に要する経費は、**行事参加者の会費**をもって充てる。会費は年額1万円(税込)とする。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を踏ったところ、発言はなく、第四号議案は満場一致で承認した。

●会議の目的たる事項

- 第一号議案 役員の派遣、スケジュールに関する件
- 第二号議案 ジャグラ文化典岩手大会を終えて
- 第三号議案 全国協議会の内容について
- 第四号議案 マスターズクラブに関する件
- 第五号議案 日印産連表彰に関する件(報告)
- 第六号議案 平成28年度～平成29年度事業推進体制に関する件
- 第七号議案 平成29年度事業報告に関する件
- 第八号議案 その他に関する件

●出席理事・監事

- 会 長 中村耀
- 副 会 長 熊谷正司、菅野潔、岩下登、池邊寛
- 専務理事 冲敬三
- 常務理事 守田輝夫
- 理 事 柳田道、大橋邦弘、尾形文貴、岡澤誠、野田晃司、早坂淳、増田光仁、青木滋、吉岡新、笹岡誠、伊藤政美、佐藤元、山本耕司、宮崎真、中越忠男

監 事 池上晴英

●欠席理事・監事

- 副 会 長 樋貝浩久、佐藤順
- 理 事 齋藤秀勝、中村盟、原田大輔、谷川聡
- 監 事 山崎泰、前沢寿博

第五号議案 日印産連表彰に関する件(報告)

毎年9月に開催する『印刷の月』式典において、日印産連表彰を行うが、ジャグラより印刷功労賞=1名、印刷振興賞=2名の推薦を依頼されている。その推薦について、中村会長より報告したい。

〔推薦者〕=省略(日印産連での機関決定まで公表不可のため)

《検討の経緯》

議場に質問・意見を踏ったところ、異議なく第四号議案は満場一致で承認した。

第六号議案 事業推進体制に関する件

各委員会より委員の選任の追加・変更があり、平成28年度～平成29年度事業推進体制については次のようにしたい。

①市場開拓・マーケティング委員会=委員の追加

山本 康彦/山口

②SPACE-21=委員の追加・交替と委員の記載漏れがあった

ので修正したい。

佐藤 圭一/宮城 中村 盟/東京・新宿

岡本 泰/愛知=退任 鈴木 照幸/愛知=新任

谷口 高広/東京・文京 稲満 信裕/東京・港

《検討の経緯》

議場に質問・意見を踏ったところ、異議なく第六号議案は満場一致で承認した。

第七号議案 平成29年度事業報告に関する件

※本誌既報分を除いた主要なもののみを掲載

◎運営基盤戦略会議

平成29年5月26日に会議を開催し、きたる11月に開催する全国協議会の内容について検討した。今回の理事会の検討を経て、次回までに内容を決定したい。

◎総務

1) 総務・財政

①会館運営：ニッケイビル空室の三階は引き続き募集をし、見学は多数あったが、成約には至らなかった。

◎教育・技術

1) プロフェッショナルDTP & Web教室

①PC入れ替えについて：スクールのMacintoshが購入から5年経過し、スペック不足となったため、今夏を目途に最新機種へ入れ替えを実施する。

2) PODワーキンググループ会議

①PODメーカー協力依頼の件：PODメーカー4社に会議出席など協力を依頼する。

②取材およびショールーム見学：10月にショールームの見学を実施する。また、ジャグラ会員を中心に専門委員の(株)ニュー

プリンティングの菅野氏が取材を行う。

◎経営革新

1) 労務管理に関する事業

「製造業の就業規則の解説」など、労務管理に関する情報提供を検討している。

2) オンデマンドプリンター(カードプリンター)の情報収集

オンデマンドプリンターの中でもカードプリンターなど特化したプリンターについての情報収集および提供を行う。

◎市場開拓・マーケティング

1) 事業承継

上記テーマで専門家を迎え、これまで数回の座談等を行ってきた経緯を踏まえて、ジャグラにとって事業承継問題、M&A問題などを相談できる窓口をもつという事も含め、今後の取り組みを検討していく。

2) クラウドサーバーの利点と活用事例のセミナーについて

各地協と青年部SPACE-21の共催事業として、クラウドサーバーについて、各地でセミナーを行う予定。7/5東京、7/29福岡・博多、8/26高知、9/2石和、9～11月に北陸、10～12月に東北を予定している。

3) (一社)エコマートとのコラボについて

エコマートは、電子請求書プラットフォームを推進している団体で、紙の請求書を印刷している我々とは対極に位置している。その団体から、協賛団体として参加の依頼があり、委員会で検討を開始した。

◎環境

1) 環境優良工場表彰の件

日印産連が主催する第16回印刷産業環境優良工場表彰の1次審査に、ジャグラから16社が応募し、そのうち3社が2次審査に進んだ。受賞企業は9月13日の印刷の月で表彰される。

2) グリーンプリンティング(GP)認定制度の普及

6月に(株)文伸(東京・三多摩)が認定取得したことで、ジャグラの取得企業数は10社になった。

3) 環境委員会の取材

毎年、環境対応企業を訪問し、インタビューを実施している。今年度は2016年に環境優良工場表彰奨励賞を受賞した(株)プリプレス・センター(北海道)を8月24日に訪問する。

◎個人情報保護

1) 指定審査機関としての更新審査

ジャグラは、平成19年よりプライバシーマーク指定審査機関の指定を受けているが、5月8日に現地審査帯同審査を、5月12日に事務所審査を受けた。指摘事項が2点あり、いずれも期日までに改善を実施し、平成29年5月25日より2年間有効の指定審査機関契約を締結した。

◎SAPCE-21

1) 幹事会

お知らせ：議事録抄録

今期の幹事会は、4月・東京、8月・高知、9月・岐阜、11～12月・東京、来年2月・大阪を予定している。夏の幹事会については東京以外の地域で開催し、地元青年部と交流を図る目的もあるが、今期は高知県で開催することとなった。今年正式発足したSPACE-21 高知のメンバーと交流を図る。

2) PrintNext2018

来年2月10日、大阪府にて開催予定。テーマは「強い会社になる為に、そして企業を永く継続する為に。」である。佐藤元代表幹事（ジャグラー理事）がPrintNext2018の運営専務として尽力している。参加人数は400名を目標としている。

◎日印産連

1) 平成29年度委員の変更

平成29年度のジャグラーより派遣している委員については、変更しなかった。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、異議なく第六号議案は満場一致で承認した。

第八号議案 その他に関する件

①吉岡理事より、財政改革でお世話になった㈱イシステムジャパンの石川会長が亡くなっていた旨、報告があった。

②菅野副会長より、日印産連より環境の「法規集」が発刊された由、報告があり、ジャグラー経由での購入の要請があった。

以上

BOOK

| 書 | 籍 | 案 | 内 |

印刷産業における 環境関連法規集【2017年版】 ～ジャグラーからの購入がお得です～

ジャグラーなど印刷関連10団体で組織する（一社）日本印刷産業連合会（日印産連）は、このほど『印刷産業における環境関連法規集（2017年版、A4判180頁）』を刊行しました。

×

本書は、環境関連の法規制の施行、改定等が相次いでおり、各種法規が複雑かつ多岐に渡っていることから、印刷全般に関わる環境関連法規の手引き書として発刊したものです。

印刷に関わる全ての環境関連法規を取り上げ、その概要を分かりやすく解説し、さらにこれに工場立地、防災、労働安全等に関する法規の解説も加えて、印刷産業に携わる皆様方が企業活動、環境活動を行ううえで、またISO14001やGP工場認定など環境マネジメントシステム構築・運用の際の重要な資料として利用できるよう編集しています。

また、保有設備や作業内容から簡単に該当する法令を引くことができる「法令逆引き表」を掲載し利用しやすくなるよう工夫しました。

ジャグラー会員価格 1500 円（税込、送料別）

本書は日印産連からも購入（会員2000円・一般4000円/税込、送料別）できますが、ジャグラー経由での購入がお得です

申込書にご記入のうえファクスしてください。請求書同封で本書をお送りしますので、代金を指定口座にお振り込みください。（振込手数料はご負担ください）

申込先 **Fax.03-3661-9006**

社名		所属	
住所	〒		
Tel	Fax	E-mail	
氏名		購入冊数	冊



【目次】

1) 環境関連法規集の概要

①掲載法規の体系、②各法における規制対象、③主な環境関連法改正の内容、④法令逆引き表

2) 環境関連法規

①排出等の規制、公害防止関連の法律——環境基本法、大気汚染防止法、自動車NOx・PM法、水質汚濁防止法、下水道法、浄化槽法、瀬戸内法、湖沼法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、工業用水法、ビル用水法、土壤汚染対策法、公害防止組織整備法、②廃棄物、リサイクル、循環型社会形成に関する法律——循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、容器包装リサイクル法、グリーン購入法、③地球環境、省エネルギー、化学物質に関する法律——オゾン層保護法、省エネ法、建築物省エネ法、地球温暖化対策法、フロン排出抑制法、PRTTR法、ダイオキシン法、PCB法、水銀汚染防止法、④環境情報、環境教育に関する法律——環境配慮促進法、環境教育推進法

3) その他関連法規

①工場立地に関する法律——建築基準法、工場立地法、②防災、労働安全、その他に関する法律——消防法、労働安全衛生法（有機則、特化則含む）、作業環境測定法、毒物及び劇物取締法、食品衛生法

JaGra News

業・界・の・動・き

ジャグラ関連 | 日印産連 | 行政情報 | 印刷業界全般 etc.

ジャグラ / マーケティング委員会

7.29 クラウドサーバーのセミナー開催

中国 & 九州地協と共催

マーケティング委員会（齋藤秀勝委員長）では、アマゾンやグーグルのサーバーを利用したサービスのセミナーを各地協で開催することになっていますが、その第一弾が7月29日に福岡で開催されました。

×



セミナーは午後3時からセントラルフクオカホテルにて、マーケティング委員会・中国&九州地協による共催として、28名の参加者で開催されました。

「今さら聞けない経営者のためのクラウドサーバーの利点と活用事例」と題して、(株)ターン・アンド・フロンティア（大阪府支部）代表取締役の高野博史氏に講演して頂きました。

昨今、頻繁に耳にするようになったクラウドですが、そのサービスや特長については漠然としたイメージしかなく、我々にとってはまさしく雲を掴むような感じというのが現状です。今回のセミナーはそういった不安や悩みを解消することが目的です。例えばサーバーの安全性やメリット、効率性など、導入することによる企業の可能性について、活用事例をあげながらお話しして頂きました。印刷業界においても必要不可欠なサービスであり、可能性を感じた次第です。

セミナー終了後は、福岡県支部の恒例行事である「納涼の集い」に参加させて頂き、大いに交流を深め、盛り上がりました。福岡県支部の皆様本当に有難うございました。感謝致します。

（文：九州地協会長・松永英明）

ジャグラ / 賛助会員

7.27-28 モトヤコラボレーションフェア開催

於 東京・秋葉原/会員企業も自社をPR

モトヤコラボレーションフェア 2017 が7月27～28日、東京・秋葉原のクロスフィールドアキバ・スクエアで開催されました。テーマは「印刷はこの街で何ができるか?」で、今回は印刷関連企業54社が出展。同フェアには毎年、ジャグラ会員・賛助会員も数多く出展しています。

(株)研美社（東京・中央&大阪府支部）は、カード印刷に特化した会社で、カードの用途毎に4つのサイトを運営し、受注につなげています。「プラスチックカード印刷総合サイト（www.kenbisha.com）」は、主にメンバーズカード、ポイントカード、診察券などが中心で、厚みや質感にこだわった多種多様なカードを用意しています。「ICカード印刷サイト（www.kenbisha-iccard.com）」はMifare、FeliCa等の各種ICカード専用サイト。他にも「IDカード・社員証印刷サイト（www.kenbisha.co.jp）」、「下敷き印刷サイト（www.kenbisha-shitajiki.com）」を運営しています。また1年前から入退室管理システムサービスの提供を開始。これは社員証などのICカードで入退室の管理ができるもので、初期費用不要、故障サポート付きのレンタルプランを用意しています。

長瀬印刷(株)（福島県支部）は、特殊印刷で業績を伸ばしている会社。例えば、一般的にブラックライトと呼ばれる発光オフセット印刷では、特定の紫外線波長に反応する特殊インキで印刷し、専用ライトを当てると絵柄が浮き出ます。商品券など金券の偽造防止に利用されるほか、ノベルティグッズに活用することで印象的な製品を作ることができます。箔押しも同社が得意とするところで、金箔、銀箔、ホログラムで製品に高級感を出すことが可能。さらに高度な技術とされる潜像箔（チェンジング箔）にも対応しているとのこと。コピーガード・マイクロ文字でも長年のノウハウが蓄積しており、解像度の低い複写機では複製できないことから、偽造防止との組み合わせに効力を発揮します。UVプリンターやガジェットプリンターも設備し、名入れグッズ、オリジナルTシャツ、タオルなどの作成が可能と

月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08



モトヤコラボレーションフェアで自社PRするジャグラ会員企業 左から、(株)研美社・長瀬印刷(株)・(株)三進社の皆さん

のことでした。

三進社(東京・港支部)は、LIMEXを出展していました。これは石灰石からつくる紙で、従来のストーンペーパーより大幅に軽くしかも安く作ることができ、紙・プラスチックの代替となる日本初の新素材です。地球上にはほぼ無尽蔵

にある石灰石を原料とするため、水・森林資源問題に貢献し、特長である高い耐水・耐光・耐候性を活かして、ポスター、防災ガイド、メニュー表等々の展開が考えられるとのこと (http://www.sanshin-sya.co.jp/activities/sp_prin/limex)。 (文: 東グラ事務局 / 吉野玲緒)

VendorNews

会員・賛助会員の製品情報・プレスリリースを中心に

企・業・情・報

2017年の新書体を今秋リリース
「A1ゴシック」「みちくさ」など17書体
(株)モリスワ

モリスワは2017年の新書体を発表した。「墨だまり」を表現した「A1ゴシック」、言葉によって形が変化する「みちくさ」など全17書体を今秋リリースする。

×

新書体は、人気書体のA1明朝の特徴を継承しつつ、やわ

言葉を紡ぐ
文字と書体
あ安 A

古都を愛して、
古都を愛して、
古都を愛して、
古都を愛して、

言葉を紡ぐ
文字と書体
あ安 A

おもしろい。
心からの
古都を愛して、

■A1ゴシック(上): A1明朝の基本となる骨格を参照して作成された、オールドスタイルのゴシック体ファミリーです。線画の交差部分の墨だまり表現や、エレメントの端々に僅かな角丸処理を加えることで、温もりのあるデザインに仕上がっています。LからBまで4つのウエイトで展開されています。

■みちくさ(右): ふところを絞った骨格と、やわらかく現代的なエレメントから構成される明朝体風のデザイン書体です。独創的で豊かな表情のかなは、多種多様な連綿体や代替字形が用意されており、OpenType機能を使用することで、縦組みの際に文脈を考慮した連綿体などを呼び出すことができます。

連綿体サンプル

ものがたり → むのがたり
存じます → 存ぢます
まことに → まことに

月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラー会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探る「シリーズ 需要創出を考える」——第2回目の今月は平成28年度ジャグラー作品展の受賞企業の中から、愛知県支部・(株)クイックスさんと岩手県支部・トーバン印刷(株)さんの事例をご紹介します。

×

事例2 作品展 / 開発・開拓部門 特別賞『おりがみカレンダー』

生産部門から生まれたアイデアを具現化!

～「捨てられない紙製品または自分で使いたい紙製品」をテーマに開発～

(株)クイックス(愛知県支部)

思いつくまま自由な発想でアイデア創出

弊社で新しい商品やサービスを生み出すときには、企画部門や営業部門のメンバーが集まって議論していますが、昨今は時代を反映してCMSやDBなどを絡めたシステム開発系の商品が多くなっています。そのような中、新しい取り組みとして、新商品のアイデアを生産部門(印刷オペレーター、調達担当者など)で作りに出すことにし、20人のメンバーに対して「捨てられない紙製品または自分で使いたい紙製品」をテーマに考えてもらいました。普段は商品の企画や開発に携わったことが無いメンバーばかりなので、マーケティングや販売利益など、本来商品開発で重要な調査項目は外して、とにかく思いつくまま自由な発想でアイデアシート1人1枚以上を出すことにしました。

1週間後に提出されたアイデアシートの数は予想を上回る120件にものほり、「妻と一緒に考えてみました」とか「我が家の子どものアイデアです」といった家族ぐるみで楽しく取り組んだメンバーも多く、どのアイデアも新たな発見や、思わず「なるほど」と思う面白さに溢れていました。

自社で持っている印刷技術や加工技術を使うことができるアイデアはすぐ形にして、検討と改良を重ねていきました。その中に「折り紙」のアイデアがありました。「折り紙」はシンプルながら奥が深い遊びで、誰もが簡単にでき、考えることや物を作る楽しさも得られる遊びです。

当初のアイデアを膨らませ、本格的に折り紙企画を考えていくことになりました。企画の中心となる考え方は次の3つの楽しさを感じてもらうことでした。

- ①折り紙そのものの楽しさを味わう
- ②折りながら物として完成していく楽しさ
- ③折り紙をデコレーションして完成させる楽しさ

昔ながらの日本の遊びを、親と子、孫と祖父母で楽しむ

姿、一過性の遊びではなく継続的に遊んでもらうにはどうすればよいのか。再度検討をした結果、カレンダーと組み合わせることに決めました。カレンダーなら毎日、毎月、そして1年中身近にあります。毎月1回、折り紙と一緒に折ることが家族の小さなイベントになればとの想いが浮かんだのです。

折り図の作成に一苦労

こうして「折り紙カレンダー」の企画・製作が本格的に始まりました。掲載する毎月の日本の行事や風景の決定、イラストの方向性や表現の決定、そして折り紙の種類を決めていきました。大人と子どもと一緒に楽しむことを想定しているため、折り紙の折り方も難しくないものを選びました。

折り紙の種類を選択して決定するまでは楽しく和気あいあいと作業が進んだのですが、いざ、折り紙のデータを作成するところで大変な壁にぶつかりました。折り上がった時に絵柄が合うようにイラストを分解して両面に配置すること、また、折り線などが表面に出てこないようにすること、そして折り易く説明する折り図を作成することが、予想以上に困難でした。こうした難題をクリアするため、やり直しや設計図の作り直しなどで多くの時間を使うことになりました。また、折り図を書いても実際に正しく折る事が出来るかを検証するため、多くの社員に協力してもらい、幾度となくサンプル折りを実施しました。

折り図の作成に関しては、普段は工業製品の取扱説明書のライティングをしているメンバーに協力してもらいました。日頃、ユーザーに対して分かり易い記載内容を追及している能力を「分かり易く折れる“折り図”の作成」に力を発揮してもらいました。もちろん、折り紙の説明書は初めてのことで最初は戸惑っていましたが、記載する折り紙の向きや折り順などを工夫して、分かり易い折り図を完成



する事ができました。

そして、製品の完成に向けて印刷がスタートしました。この段階では、折り紙のセット作業に苦勞することが予測されました。ひとつのカレンダーに付属している折り紙の種類は52種、総枚数71枚です。これらをそれぞれの月ごとにセットする必要があります。小さく薄い紙で似たような図柄が多いため、間違いなく正しくセットするには思いのほか多くの時間が掛かりました。このセット工程を短縮していく制作方法を研究することが、今後の課題でもあります。

このようにして完成した「折り紙カレンダー2017」は、

受賞作の『おりがみカレンダー』(左から3点)
折り紙のウサギを折ってカレンダーに貼り付けた状態(右上)
折り紙の表裏には折り線と山折り・谷折りの指示が印刷されている(右下)

幼稚園や小学生サークル、介護施設の方々に使用していただきました。実際に使ってみた感想として「折り紙を懐かしく感じながら楽しめました。」など、「折り紙カレンダー」に込めた想いが反映した声が多く届き、この企画に携わったメンバーの努力が報われた思いです。

現在、こうした使用者の声を参考に修正を加え、来年度の「折り紙カレンダー2018」の制作真っ最中です。

事例3 作品展 / 業務用印刷物部門 全国中小企業団体中央会 会長賞

小さな印刷会社でも 『ひがしいわいの校歌集』

音楽著作物の出版はできる!!

～知的財産権「音楽著作権」をどのようにクリアしたか～

トーバン印刷(株)(岩手県支部)
企画・デザイン・ウェブ課/課長 足利園子



発行にあたっての経緯

少子化の進行にともない学校統廃合が各地で進み、岩手県一関市内でも多くの学校が廃校となりました。今回の受賞作『ひがしいわいの校歌集』は、子どもの頃に歌った多くの校歌が、廃校によって歌われる機会がなくなり、何も

しなくては忘れ去られてしまうため、なんとか記録として残したいという弊社社長・菅原の思いから、自主企画で制作し、有料頒布したものです。企画当時は他社でも校歌集を作りたいという情報がありましたので、同じように感じる人はたくさんいたことと思います。

原稿収集について

校歌は、学校によっては旧校歌も含めると1校で3曲もある学校があります。市町村合併が繰り返される度に、廃校になったり、統合することで新しい校歌が制定されることがあります。一関市はかつて東と西の地区に分かれており、今回東地区だけになります。校歌とタイトルがつく歌は70曲を超えました。

校歌を集めるにあたって基とした著書がありますが、それには記載されなかった校歌があり、今回纏めるなら漏れがないよう、楽譜は伴奏までそのまま載せることとしました。

歌詞や楽譜の収集は、とにかく探すしかないのですが、一番初めに自社作成のデータから探しました。続いて、市立・県立図書館へ足を運んでの収集、営業を通して学校提供のコピーなど入手方法は様々です。

廃校の中には校歌がなかったり、応援歌を校歌として代用している学校もありました。楽譜のコピーをいただいたと統合後の学校へ問い合わせると、統廃合で資料がどこにあるかわからない、校長先生でも「自分の一存で決められない」という返答がありました。

権利者探しについて

一関市内の学校の校歌の中には、市帰属の曲が幾つかあります。当初はそれが何曲あるのか分かりませんでした。2014年秋に校歌集を作りたいと、一関市教育委員会へ協力依頼と使用許諾願いを提出しました。その後、営業と共に担当者のところへ何度か足を運んでみましたが、営利的での利用となると許可を出すのは難しいと、なかなか良い返事は得られませんでした。2016年の年明けに、社長の菅原が教育長と直接話をする機会があり、その後、一関市へ使用許諾願いを再提出し、市帰属の校歌について許諾を得ることができました。

権利団体に委託されている方は全体から見ると少なく、委託されていない方のほうが多いです。ウェブサイトや図書館での名簿等の調査以外に、地元の教育者だった方、市、大学、文化施設などへの問い合わせをしました。

作詞者は地元教育者で校長先生をされた方や文化人が多く、作曲者は大学教授や音楽家が多くいました。教育者は著書があることが多く、経歴は探すヒントとなります。郷土の人物史には没年が記載されていて、そこから著作権が切れていることが分かった曲もありました。連絡先が分かると、電話で許諾文書を送る事を説明することがありまし

たが、直接郵送する場合は、どのように連絡先を入手したかしたためたものを添えて許諾文書を送付しました。会ったことがない知らない者からの突然の依頼を不信に思わないようにと気遣いをしたつもりです。結果的には連絡できたすべての方に許諾をいただきました。

権利団体はJASRAC以外にもあることが次第に分かり、作詞の分で公益社団法人日本文藝家協会へ著作物の利用を申し込んだ曲があります。

なんとかして全て探し出したかったのですが、最終的に権利者不明があり、文化庁への裁定申請をしました。文化庁に事前相談したのは2015年の9月。2016年3月に公益社団法人著作権情報センター（CRIC）へ「権利者探し」広告を掲載し、2016年6月に文化庁への裁定申請書の作成を始めました。8月に裁定申請書を送付し、9月に法務省へ供託金を支払い、ようやく著作物の利用ができるようになりました。手続きに1年程かかりましたが、他の作業もあって時間がかかったと思います。

申請書の作成は面倒ですが、ワードとエクセルが使えれば十分できます。申請データを作成し文化庁へメールで送れば問題点を指摘されます。指摘にそって修正していけば申請書はできます。行政書士へ申請代行を依頼することも良いかもしれません。

CRICへの「権利者探し」広告は、いまだに不明者がいますので現在も公開しています。『ひがしいわいの校歌集』



受賞作『ひがしいわいの校歌集』(上) 仕様はA4判、表紙カバー4C、本体モノクロ122ページ、並製本、CD2枚添付。旧東磐井郡内の小中高の校歌75曲が収録されており、定価は3500円(税別)。表紙PP加工とCDプレスのみ外注で、他は全て自社製作とのこと(1100部製作)。

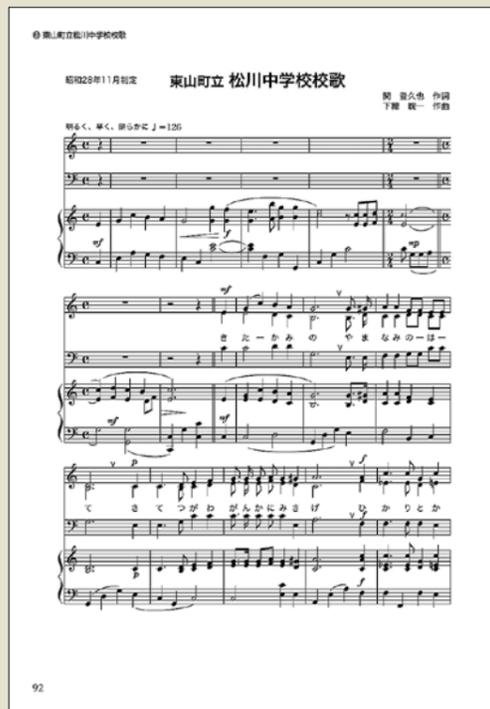
発行から半年以上経ってからですが、メールをいただきました。久しぶりに御祖父様のことを検索して広告を見つけたそうです。発行前には1件ですが権利者が判明しており、CRICの「権利者探し」広告は探すあてがない場合にはとても有効な手段と感じています。

楽譜・音源制作ソフトについて

楽譜はFinale2012で作成し、印刷物と音源に使用しています。音楽に関する知識が少なく、Finaleは通常使用しているAdobeのソフトと使い勝手が違うため苦労しました。以前Finale2008で作成した楽譜を、今回Finale2012で修正し、使用したデータがありました。修正したくても自力では直せず、メーカーへ問い合わせでデータ検証をしていただいたことがあります。何が原因なのか結局のところ分かりかねましたが、修正はされていたのでその時は良しとしました。バージョンが違うデータは新規で作直すのが一番のような気がします。

また、基となる楽譜は人によって癖があったり、どうみても記載上間違いと思われるところがあって悩むところがありました。

最終的な楽譜と音のチェックは社長の知り合いの音楽関係者にお願しました。ソフト上で音を流し、楽譜と比べながら耳でチェックしてもらいます。その場でなるべく修



正し確認をしていただきました。

CDへの音源は作成した楽譜データから書き出しましたが、音量が低いように思われ、音域を広げるためAdobe Audition CCで調整をしました。

CDプレスバルクは外注ですが、外注先からCD-TEXTは使用できないということで、iTunesでタイトル等を登録し、Gracenote CDDDBを使用しました。最終的にはCDDDBを使用できない環境を考え、急遽2つ折りのブックレットを添付しました。

最後に

歌詞、楽譜、制定日は調べられた範囲ですから、これまで収集した情報は完璧ではありません。それでも地域の文化遺産を形として残すことはできました。校歌の使用許諾にあたっては、権利者の方から多くのお礼の言葉をいただき、こちらまで懐かしく幸せな気持ちにさせていただきました。

学校統廃合・学校再編計画は各地で進められています。時間が経つほど古い曲の情報は少なくなり、簡単に使用することができなくなります。

誰かがやらなければ、地元の校歌は消えていくことになるかもしれません。地域の文化遺産を形として残してみませんか。



楽譜(左)の印刷と音源制作には楽譜制作ソフトfinale(フィナーレ)を使用した。音符入力はPCのキーボードやマウスの他に、MIDIキーボードを使用したり、MIDIなどの音楽データをインポートできる。また、音楽系のフォントも同梱されているので、様々な楽譜を作成可能。詳細は同ソフトのHP(上 <https://www.finalemusic.jp/>)をご参照ください。

新 知 孔 温

懐かしき 謄写印刷とその魅力
—— 今こそ先達の精神を学ぶとき



ジャグラ山形県支部長 (中央印刷株)
山形謄写印刷資料館 館長

後藤 卓也

続編

第15回：60年前の年賀状デザインコンテスト

ジャグラは今年も「2018年戌年 年賀状デザインコンテスト」を開催していますが、謄写印刷時代の昭和25年から昭和30年代にも、昭和謄写堂(現ショーワ)主催で年賀状作品コンテストが行われていました。これは「全日本孔版年賀状交換会」と題し、全国から謄写印刷で作成した年賀状の交換会・優秀作品表彰として企画されたもので、最優秀賞3点として「王冠賞」「SHACHI賞」(2作品)、その他数点が優秀賞として賞品授与されました。今からちょうど60年前の戌年、1958年(昭和33)の「全日本孔版年賀状交換会」について、「昭和堂月報」記載を中心として、作品と経緯を紹介します。

応募要項は月報第81号(1957年(昭和32)11月発行)に以下のように掲載されています。

- 趣旨…全日本孔版人の交歓を目的とし、昭和謄写堂を中心に賀状を交換するもので、会員は、各自の賀状を昭和謄写堂に送り、全会員の賀状を揃えて昭和謄写堂から会員に発送します。原則としてコンクールの審査は行いませんが、会員の互選その他の方法により、優秀作品を推せんし、王冠賞その他の記念品を贈呈します
- 作品…孔版印刷なら、どんな製版・印刷技法のものでもよく、題材・構成も自由ですが、他との振合い上、三色以上とします。
- 人員…定員200名限りとし、作品提出枚数は230枚とします。

その他の要項では、住所氏名を画面に入れる事を原則とし、厚さは官制ハガキより厚く、大きさは官制ハガキ大を超えないようにし、応募申込締切は12月15日、作品提出期限は1958年1月15日としました。そして集まった作品を特製の箱に入れ、1月25日までに出品会員に届くように送る旨記載されています。出品するためには、全日本孔

版賀状交歓会会員にならなければならないが、会費は100円申込みと同時に前払いでした。付則に「甚だしく粗悪なもの参加を取り消すものいたします。」となっています。

賀状交歓会の結果は月報第86号(1958年6月発行)で発表されています。作品提出者は197名、王冠賞には矢野斌(大分)の作品、SHACHI賞には一席に大野道男(滋賀)、二席に齋藤文司(静岡)の作品が選ばれ、佐藤正雄(岐阜)・相原保(栃木)・和仁啓輔(岐阜)・橋本次男(山形)・山崎務(静岡)・石垣毅(東京)・諫早

昭和謄写堂(現ショーワ)主催

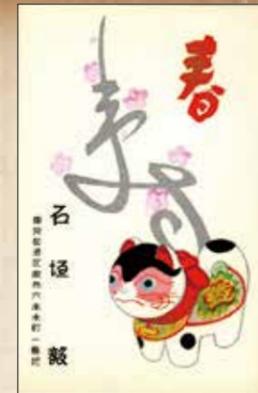
(1958年/昭和33)・全日本孔版年賀状交換会 応募作品の数々



王冠賞・矢野斌(大分)



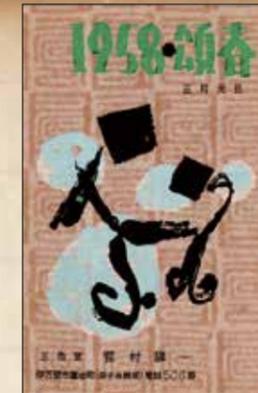
佐藤正雄(岐阜)



石垣毅(東京)



幅弓之助



菅村驛一



岩根豊秀



小西米作



SHACHI賞・大野道男(滋賀)



相原保(栃木)



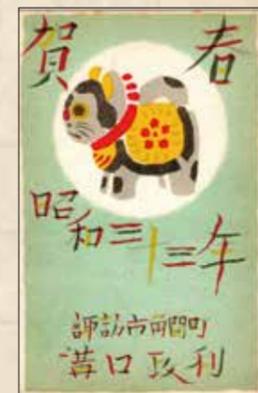
諫早プリント(長崎)



赤羽藤一郎



小泉與吉



溝口政利



三田幸次郎



SHACHI賞・齋藤文司(静岡)



山崎務(静岡)



和仁啓輔(岐阜)



橋本次男(山形)



森田嗣雄(睦)

リント(長崎)の人々に昭和謄写堂から入選賞品が授与されました。

出品者には出品者作品190枚に加え、招待参加作品28点が一緒になったものが送られました。招待参加作品には、昭和謄写堂社長の幅弓之助をはじめ、赤羽藤一郎・菅村驛一・小泉與吉・岩根豊秀・溝口政利・小西米作・三田幸次郎・森田嗣雄(睦)といった謄写印刷史に残る人たちの作品が並び、何れも素晴らしい多色刷りです。(写真)

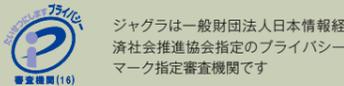
年賀状デザインコンテストは現在も行われていますが、我々の先達たちも60年以上前から全国規模で年賀状交換会という形でコンテストを行い、優秀作品制作に取り組んでいました。そして、年賀状のデザイン考案に

悩み、全国優秀作品を参考に年賀状を制作していたのではないかと思います。パソコンやスマホ・プリンター等の普及のために年賀状印刷枚数は減少を続けていますが、今も主要商品の一つである事は間違いありません。年賀状優秀デザインの制作を通して技術向上をはかる姿勢は必要ではないかと思います。先達たちの制作姿勢を振り返り、同時に組合主催コンテストへの積極的参加と優秀作品の活用は重要な事と思います。

昭和30年代から昭和末期まで歌川千加夫・塚越源七・小針美男らが年賀状制作見本を兼ねた作品を制作・頒布していました。これらについてはまた後日取り上げる事とします。(編集部注：本続編は不定期連載となります)

月刊「グラフィックサービス」789号

■発行日 平成29年8月10日(毎月1回)
 ■発行人 中村 耀
 ■編集人 早坂 淳
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 TEL 03-3667-2271
 FAX 03-3661-9006
 WEB <https://www.jagrab.net/>



■編集部 メール edit@jagrab.net

◎原稿/編集/校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
 斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
 藤尾 泰一 (㈱インフォ・ディー/広報委員)
 日経印刷㈱ (校正のみ)

◎組版/デザイン (㈱インフォ・ディー)

組 版 = Adobe CS6/CC
 フォント = モリサワ OTF ほか

◎印刷 日経印刷㈱ (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 CTP = 富士フイルム XP-1310R
 東レ TWL-1160F

刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 ハイデルベルグ社 SORD

インキ = DIC
 用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊162.5kg

※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とベジタブルインキ(環境配慮型インキ)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2017 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 また、原則 TM・®マークは省略しています
 ※乱丁/落丁本はお取り替えいたしません



ジャグラ スケジュール表

2017.7

- 1日 栃木県支部総会→沖専務
- 3日 年賀状デザインコンテスト選考委員会、ジャグラコンテスト専門委員会議
- 5日 プライバシーマーク審査会、POD ワーキンググループ会議
- 6日 プライバシーマーク現地審査(大阪)、ラベルフォーラム JAPAN2017 → 欠席
- 7日 マーケティング委員会、ラベルフォーラム JAPAN2017 → 欠席
- 8日 全日本製本青年会京都大会→中村会長、日本自費出版文化賞第二次選考会
- 10日 プライバシーマーク現地審査(秋田)
- 14日 ジャグラ正副会長会議、ジャグラ理事会
- 18日 広報委員会
- 20日 日印産連価値創出委員会→沖専務
- 25日 プライバシーマーク現地審査(秋田)、日印産連知的財産部会→増田理事
- 28日 岩手県支部総会、神奈川県支部総会→中村会長・沖専務
- 31日 日印産連環境優良工場選考委員会→沖専務、全国協議会打合せ→早坂理事

2017.8

- 1日 全国協議会打合せ→沖専務
- 2日 日印産連ステアリングコミッティ→中村会長、日印産連広報委員会→早坂理事
- 3日 日印産連専務理事連絡会議→沖専務、全国協議会打合せ→中村会長・沖専務・早坂理事
- 7日 日印産連理事会→中村会長・菅野副会長
- 8日 経済産業省署中あいさつ→中村会長・沖専務ほか
- 10日 POD ワーキンググループ会議、ジャグラコンテスト会議、教育・技術委員会
- 21日 プライバシーマーク現地審査(山梨)
- 22日 広報委員会、JIPDEC 臨時指定審査機関会議→斎藤成 Pセンター長
- 23日 プライバシーマーク現地審査(神奈川県)
- 24日 環境委員会視察(北海道)
- 25日 SPACE-21 ミニセミナー(高知)
- 26日 SPACE-21 幹事会(高知)
- 28日 プライバシーマーク現地審査(福島)

2017.9

- 2日 関東地協総会(山梨)→中村会長・沖専務ほか
- 5日 プライバシーマーク現地審査(香川)
- 6日 日印産連知的財産部会→増田理事、日本自費出版文化賞最終審査会+記者発表→中村会長
- 7日 マーケティング委員会
- 8日 プライバシーマーク現地審査(千葉)
- 10日 4団体トップ話し合い(熱海)→中村会長・菅野副会長・沖専務
- 11日 プライバシーマーク現地審査(群馬)
- 13日 経営革新委員会、総務委員会、日印産連「印刷の月」式典・講演会・懇親会(ホテルニューオータニ)
- 14日 プライバシーマーク審査会
- 20日 日印産連企業行動委員会→沖専務
- 30日 SPACE-21 幹事会+全国協議会(岐阜)

編集後記

個人情報保護をめぐる環境が大きく変わってきています。特定個人情報(マイナンバー)制度の運用開始や今年5月の個人情報保護法の改正に加えて、個人情報保護マネジメントシステムである JIS Q 15001 の改正案が公表されました。JIS Q 15001 は当初 1996 年版(個人情報保護のコンプライアンスプログラム)でしたが、それが 2006 年版では個人情報保護マネジメントシステムとして変更されましたので、新 JIS への対応は大変な努力が必要でした。今回の JIS 改正も、対応には時間やコストがかかると思いますが、ジャグラとしても、会員の皆さまが対応をあきらめることのないよう対策を考えていきたいと思っています。(T.M)

2017年8月号

ジャグラBB HOT NEWS



“技”がテーマの新感覚番組「ワザコレ!」配信開始

「ワザコレ!」は、「技」をテーマにジャグラ会員から投稿映像を集め、ジャグラBBで配信・共有することで、会員各社の作業効率アップを目指す新しいプロジェクトです。

現在、プロジェクト第1弾として、東京地協会員2社からの投稿映像を配信中! 会員企業がみずから撮影・編集した、現場で実践中の実用的なノウハウが詰まった動画をぜひご覧ください。



ワザコレ! 動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」シリーズで配信する投稿映像を募集しています。みなさんの会社のノウハウを動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。ふるってご応募くださいませ。

ワザコレ! 動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB 企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
 応募先メールアドレス: jagrab@jagrab.net

スマホで撮影した動画も受け付けます!



今月のおすすめ番組 3 選

▶最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrab.net>



ワザコレ! No.01
 投稿者: ㈱イナミツ印刷

新プロジェクト「ワザコレ!」初の投稿映像。東京地協港支部・㈱イナミツ印刷が、「仕組み」によって生産効率を上げる日常業務の作業連携ノウハウをご紹介します。(時間:1分21秒/パスワード不要)



ワザコレ! No.02
 投稿者: ㈱ケイスイ

新企画「ワザコレ!」投稿映像ナンバー2。東京地協文京支部・㈱ケイスイが、合紙を使わずA3で2面出力する“オンデマンド印刷でくるみ製本効率UP”の方法をご紹介します。(時間:1分45秒/パスワード不要)



平成28年度ジャグラ作品展・大臣賞受賞者インタビュー

平成28年度ジャグラ作品展で見事大臣賞を受賞された方たちに、ジャグラ文化典岩手大会で行われた表彰場にてインタビューをさせていただきました。受賞者の喜びの声をお聞かせください。(時間:13分/パスワード不要)

ジャグラBB 新規ID登録ページURL

https://www.jagrab.net/app_mail.php



月刊
グラフィックサービス
No.789
2017
08